# 佐倉シニア 2年連続県代表

## 全日本中学野球ジャイアンツカップ

第11回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ県予選（日本野球連盟など主催）は6月25日、7月8、9、15日、県内4団体（リトルシニア、ボーイズ、ポニー、ヤングの計55チーム）代表9チームによるトーナメント戦が匝瑳市の山桑球場などで開催され、佐倉リトルシニアが2年連続で県代表の座に着いた。

佐倉は2回戦、準決勝に快勝。流山ボーイズとの決勝は、1点を争う投手戦。諸隅がノーヒットノーランを達成した。

全国25の地区予選から勝ち上がってきた32チームのトーナメントで行われる本大会は、8月14～18日、東京ドームなどを会場に開催される。

2年連続優勝を果たした佐倉リトルシニア＝7月15日、匝瑳市の山桑球場

▽1回戦（東洋大牛久高校球場）
オール沼南 4－2 松戸ポニー

▽2回戦（山桑公園球場）

京葉ボーイズ
0001405－10
0000000－0
匝瑳シニア
（京）市原、金子－石川
（匝）吉田、宮内－元倉
▽二塁打 箱山、藤田（以上京）
常世田（匝）

【評】京葉は四回、1死満塁の場面で犠飛で先制。五回には1死満塁から二塁打などで4点を挙げ試合を決めた。

市川シニア
0100000－1
0020l0×－3
市原ポニー
（川）高崎、高橋、篠塚－深見
（原）高橋－西田
▽二塁打 宇野（川）長沼、松川、高橋（以上原）

【評】市川は二回、2死二塁から深見の左前で先制。市原は三回、3本の長短打を並べ逆転。五回には2死から左越え二塁打で1点を加えた。

▽2回戦（長嶋茂雄記念岩名球場）
ヤングオール沼南
1000－1
415l×－11
佐倉リトルシニア
（規定により四回コールド）
（沼）西、川野、藤田－西谷
（佐）諸隈、堀井－瀬川
▽二塁打 高島（沼）諸隈（佐）
▽二塁打 西川、諸隈（以上佐）

【評】一回、沼南は四球の走者が高島の右越え三塁打でかえり先制。佐倉はその裏西川の中越え二塁打、諸隈の安打などで逆転。二、三回にも加点。四回諸隈の二塁打などで1点を挙げコールドとした。先発の諸隈は立ち上がりこそ乱れたがその後は要所を締め、堀井も後続を抑えた。

流山ボーイズ
0100101－3
0000000－0
千葉市リトルシニア
（流）佐々野、庭野－横山
（千）種村、森嶋－高木
▽二塁打 加藤（流）

【評】流山は二回、四球の庭野を犠打と2安打でかえし先制。五回には右前の加藤が盗塁、犠牲で進み鈴木の中前でかえり2点目。七回にも1点を加えた。千葉は好機も佐々野、庭野を攻め切れなかった。

▽準決勝（長嶋茂雄記念岩名球場）
佐倉リトルシニア
3101100－6
0000001－1
京葉ボーイズ
（佐）諸隈、堀井－瀬川、京極
（京）箱山、金子－石川
▽三塁打 西川、諸隈、高橋（以上佐）

【評】佐倉は一回、西川の2点三塁打で先制。二回には高橋の三塁打古滝の犠打でリードを4点とし、四、五回にも1点ずつを加えた。京葉は六回まで諸隈に1安打に抑えられ、七回相手失策で出た走者をかえすのがやっとだった。

流山ボーイズ
0000001－2
0010000－1
市原ポニー
（延長八回同点でタイブレーク）
（流）山崎、庭野－横山
（市）田中、高橋泰、富岡－西田
▽三塁打 加藤（流）中山（市）

【評】市原は三回、安打の古川が二つの相手失策でかえり先制。流山は七回、三塁打の加藤がパスボールで生還し同点とすると、タイブレーク一回、スクイズで決勝点を挙げた。市原は延長八回の無死三塁を生かせず、タイブレークも好機を併殺で失った。

▽決勝
流山ボーイズ
0000000－0
0010000×－1
佐倉リトルシニア

優勝した南条日吉スポ少年団